

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【成人看護学】		成人看護学概論		中本 智恵子		○	
						看護師としての臨床経験を授業に活かす	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	成人期の生活と健康に関する基本的知識を基盤とし、成人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護の基本的考え方や方法を学ぶ						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	成人とは、身体的・心理的・社会的に成長・成熟した人であると理解する。	○				
	2	成人の学習理論に基づいて行動変容を促進し、健康行動を促すことを理解する。	○				
	3	成人の健康生活を回復・維持・促進するための看護技術を理解する	○				
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	成人の成長発達・役割・各期の健康問題	講義		中本 智恵子		
	2	成人の身体機能の特徴と看護	講義		中本 智恵子		
	3	成人の生活を理解する視点と方法	講義		中本 智恵子		
	4	学習の特徴と看護（アンドラゴジールモデル）	講義		中本 智恵子		
	5	成人期にみられる健康障害（生活習慣・職業・生活ストレス）	講義		中本 智恵子		
	6	成人への看護に有用な概念（病みの軌跡）	講義		中本 智恵子		
	7	成人の看護に有用な概念（セルフケア）	講義		中本 智恵子		
	8	成人の看護に有用な概念（危機）	講義		中本 智恵子		
	9	成人の看護に有用な概念（適応）	講義		中本 智恵子		
	10	成人の看護に有用な概念（自己効力）	講義		中本 智恵子		
	11	成人の看護に有用な概念（ヘルスプロモーション）	講義		中本 智恵子		
	12	健康レベルに応じた看護	講義		中本 智恵子		
	13	健康レベルに応じた看護	講義		中本 智恵子		
	14	健康レベルに応じた看護	講義		中本 智恵子		
	15	健康レベルに応じた看護	講義		中本 智恵子		
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							

必要な学修	授業時間外に						
使用参考教科書	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業への取り組み状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○					
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由記述欄)	筆記試験						
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優 (100~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下) で評価する。						
学生へのメッセージ	履修にあたっての留意点						

分野	科目名	担当教員	実務経験の有無				
			有	無			
専門分野Ⅱ 【成人看護学】	成人看護学方法論Ⅰ (消化器系疾患の看護) (循環器系疾患の看護) (内分泌と代謝系疾患の看護)	津下 智子 相良 久美代 野口 直子	○ ○ ○				
			看護師としての臨床経験を授業に活かす				
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	30	1	後期				
学習内容	専門基礎分野の知識を基に成人期に発症しやすい病態・疾患の看護を学び、看護師の役割や責務を理解する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	消化器疾患患者の病態・治療・検査を受ける対象の看護を理解する	○				
	2	循環器疾患患者の病態・治療・検査を受ける対象の看護を理解する	○				
	3	内分泌・代謝疾患の特性を取り巻く医療や社会状況がわかる。	○				
	4	内分泌器官の構造と機能がわかる。代謝の概要と機能が分かる。	○				
	5	事例を通して看護を学び支援を考えることができる。		○			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考 (講師名)			
	1	消化器疾患の看護 薬物療法 栄養	講義	津下 智子			
	2	消化器疾患の看護 薬物療法 手術	講義	津下 智子			
	3	手術 食道癌・胃癌	講義	津下 智子			
	4	大腸癌・肝癌	講義	津下 智子			
	5	国試過去問の解説	講義	津下 智子			
	6	循環器疾患の医療の動向と看護の概要	講義	相良 久美代			
	7	循環器疾患の検査と治療	講義	相良 久美代			
	8	高血圧症・不整脈・ペースメーカー埋込患者の看護	講義	相良 久美代			
	9	虚血性心疾患の看護	講義	相良 久美代			
	10	慢性心不全の看護	講義	相良 久美代			
	11	内分泌・代謝疾患を持つ患者とは内分泌器官の構造とホルモン機	講義	野口 直子			
	12	糖尿病とは	講義	野口 直子			
	13	内分泌・代謝の疾患看護 (クッシング症候群・アジソン病)	講義	野口 直子			
	14	内分泌・代謝の疾患看護 (橋本病・バセドウ病)	講義	野口 直子			
15	糖尿病との関連する疾患 2型糖尿病の事例をとして対象を理解する	講義	野口 直子				

	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
授 業 時 間 外 に 必 要 な 学 修							
使 用 参 考 教 科 書	<p>【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学5 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院</p> <p>【参考書】 糖尿病治療ガイド 2016-2017 日本糖尿病学会編・著</p>						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり組み状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○					
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由記述欄)							
成 績 評 価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。						
学 生 の 留 意 点 其 他	履修にあたって						

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
専門分野Ⅱ 【成人看護学】	成人看護学方法論Ⅱ (血液造血器疾患患者の看護)		竹田 知央		○	看護師としての臨床経験を授業に活かす	
	(膠原病アレルギー感染症患者の看護)		安田弘枝/古屋美里		○/○		
	(女性生殖器疾患・乳腺疾患患者の看護)		宮野康子/阿部純子		○/○		
	(事例展開)		中本智恵子		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	46	1	後期				
学習内容	専門基礎分野の知識をもとに、成人期に発症しやすい疾患の看護を学び、看護師の役割を学ぶ。 また、健康障害により手術を受ける患者の看護ケアや看護師の役割を紙上事例の展開をとおして理解する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	血液造血器系に健康障害のある人の看護を理解する。	○				
	2	アレルギー・膠原病・感染症をもつ人への看護やその予防について理解する	○				
	3	女性生殖器(乳腺除く)に健康障害を持つ人への看護を理解する	○				
	4	女性生殖器(乳腺)に健康障害を持つ人への看護を理解する	○				
	5	健康障害により成人期に手術をうける患者の看護ケアや看護師の役割を紙上事例の展開をとおして理解する。	○	○			
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	・血液疾患の概要と統計 ・血液の成分と機能 ・血液疾患における症状看護の役割 ・貧血、出血傾向にある患者の看護	講義		竹田 知央		
	2	・白血球減少のある患者の看護 ・白血病の患者の看護	講義		竹田 知央		
	3	・白血病における化学療法の看護 ・悪性リンパ腫の患者の看護	講義		竹田 知央		
	4	・造血因子 ・移植 ・移植時の看護	講義		竹田 知央		
	5	・放射線療法時の看護 ・輸血療法時の看護	講義		竹田 知央		
	6	アレルギー疾患患者の看護	講義		安田 弘枝		
	7	膠原病患者の看護	講義 GW		安田 弘枝		
	8	感染症を持つ患者の看護	講義		古屋 美里		
	9	感染症患者の看護 感染経路別予防策と隔離方法 洗浄と消毒、滅菌 予防接種とワクチン	講義 GW		古屋 美里		
	10	感染症患者の看護 症状別看護 検査時の看護	講義		古屋 美里		
	11	女性生殖器疾患患者の特徴 急性期・回復期・慢性期・終末期の看護 各症状の看護	講義		宮野 康子		
	12	女性生殖器疾患患者の看護 良性疾患患者の看護	講義		宮野 康子		
	13	手術を受ける患者の看護 化学療法を受ける患者の看護 放射線治療を受ける患者の看護	講義		宮野 康子		
14	乳がんの現状と動向 乳がんの検査治療時の看護 精神面のケア	講義		阿部 純子			

	15	乳がんの検査治療時の看護	講義	阿部 純子			
	16	事例提示 術後の看護に影響する術中看護を学ぶ	講義 ワーク	中本 智恵子			
	17	術後 ①循環器系 ②呼吸器系の影響を学ぶ	講義 ワーク	中本 智恵子			
	18	術後 ①循環器系 ②呼吸器系の援助の計画立案	講義 ワーク	中本 智恵子			
	19	共同問題の考え方	講義 ワーク	中本 智恵子			
	20	社会復帰に向けての手術の影響について	講義 ワーク	中本 智恵子			
	21	(21講目と続きで授業を行う) 術後の観察の実際をシミュレーター	GW 演習	中本 智恵子			
	22	(20講目と続きで授業を行う) シミュレーション時間外益0分間は学習時間として活用	GW 演習	中本 智恵子			
	23	リフレクション (術後の援助に必要なことを明らかにする)	講義 ワーク	中本 智恵子			
外授 な業 学修 必要 時間							
使用 参考 教科 書	1.系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器 (医学書院) 2.系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症 (医学書院) 3・4.系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[9] 女性生殖器 (医学書院) 5.周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護 (医歯薬出版) よくわかる周手術期看護 (学研)						
成績 評価 の方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり くみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○					
	到達目標 4	○					
	到達目標 5				○		
(自由 記述 欄)	到達目標1～4：筆記試験 到達目標5：パフォーマンス課題とルーブリック評価 パフォーマンス課題：あなたは、早期胃がんで胃切除術（開腹）を受けるAさんのプライマリーナースです。Aさんが手術・麻酔の侵襲から術後どのように回復過程をたどるか根拠を基に述べ、術後に必要な看護を考えなさい。						
評価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。						
セ 学 生 へ の 留 意 点 そ の 他 メ ッ	履修にあたって						

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
専門分野Ⅱ 【老年看護学】	老年看護学概論		安部三枝子 後藤三春		○		
					○		
看護師としての臨床経験を授業に活かす							
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	16	1	後期				
学習内容	老年期の加齢に伴う変化の特徴を、身体的・精神的・社会的側面から学習する。また、高齢社会における高齢者とその家族の生活について考え、よりよい生活を築くための、老年看護の基本について学習し、今後の老年看護の展開の基礎とする。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	高齢者の身体的特徴を理解できる	○				
	2	高齢者の心理的特徴を理解できる	○				
	3	高齢者の社会的特徴を理解できる	○				
	4	老年看護の特徴を理解できる	○				
	5	認知症に関する施策を知り、認知症の予防や認知症高齢者への看護を理解する。	○				
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	1. 老年看護学を理解する為の基盤 1 (1) 老いの意味 (2) 老年期の理解	講義		安部三枝子		
	2	1. 老年看護学を理解する為の基盤 2 (1) 高齢者を取り巻く社会制度 (2) 高齢者の権利擁護	講義		安部三枝子		
	3	2. 老年看護の理念と目標 3. 老年看護の対象となる人々の特徴 1	講義		安部三枝子		
	4	3. 老年看護の対象となる人々の特徴 2 4. 老年看護に活用できる理論・アプローチ	講義・GW		安部三枝子		
	5	5. 健やかな老い、安らかに永眠するを支える看護 6. 高齢者の健康生活の支援 7. 高齢者の療養生活の支援	講義		安部三枝子		
	6	8. 高齢者の尊厳を支える看護と看取り、家族への支援	講義		安部三枝子		
	7	9. 生かし生かされる地域づくり 10. 老年看護の課題	講義		安部三枝子		
	8	認知症について 対応のDVD	講義		後藤三春		
	9	認知症について 事例をふまえて 対応のDVD	講義		後藤三春		
	10						
	11						
	12						
	13						
14							

	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
必要な学修	授業時間外に						
使用参考教科書	1) 老年看護学概論（改訂第2版）「老いを生きる」を支えることとは 2) 老年看護学技術（改訂第2版）「最後までその人らしく生きることを支援する」						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○					
	到達目標 4	○					
	到達目標 5	○					
（自由記述欄） 評価方法	筆記試験100点で評価。 評価割合：老年看護学概論80%、認知症患者への対応20%						
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。						
学生へのメッセージ	看護の対象者は高齢者の割合が高くなっています。高齢者の特徴と社会制度や社会のなかでの高齢者を理解し看護に活かせるよう学ぶことを期待します。						

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【老年看護学】		老年看護学方法論Ⅰ (呼吸器系疾患の看護) (脳・神経系疾患の看護) (骨格・筋系疾患の看護)		山本 隆子 峯 彩音 中村 香那		○ ○ ○	看護師としての臨床経験を授業に活かす
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	30	1	後期				
学習内容	専門基礎分野の知識を基に、老年期に発症しやすい病態・疾患の看護を学び、看護師の役割や責務を理解する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	呼吸器系疾患の病態・症状・機能障害・治療をもとに看護を理解する。	○				
	2	脳・神経系疾患の病態・症状・機能障害・治療をもとに看護を理解する。	○				
	3	骨格・筋系疾患の病態・症状・機能障害・治療をもとに看護を理解する。	○				
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	医療の動向と看護 疾患の過程と看護 症状に対する看護 検査を受ける患者の看護(腹腔穿刺)	講義		山本 隆子		
	2	検査を受ける患者の看護(気管支鏡) 吸入・酸素療法を受ける患者の看護 人工呼吸器を装着する患者の看護	講義		山本 隆子		
	3	気管切開を受ける患者の看護 吸引・胸腔ドレナージを受ける患者の看護 手術を受ける患者の看護	講義		山本 隆子		
	4	肺炎患者の看護 結核患者の看護 気管支喘息患者の看護 肺血栓症患者の看護 ARDS患者の看護	講義		山本 隆子		
	5	慢性閉塞性肺疾患患者の看護/睡眠時無呼吸症候群の患者の看護/ 肺がん患者の看護/自然気胸患者の看護/血液ガス分析	講義		山本 隆子		
	6	脳・神経系の構造と機能 疾病の経過と看護	講義		峯 彩音		
	7	症状・障害をもつ患者の看護	講義		峯 彩音		
	8	症状・障害をもつ患者の看護	講義		峯 彩音		
	9	疾患を持つ患者の看護	講義		峯 彩音		
	10	疾患を持つ患者の看護	講義		峯 彩音		
	11	保存的治療とその看護	講義		中村 香那		
	12	大腿骨骨折患者の看護	講義		中村 香那		
	13	人工関節挿入患者の看護	講義		中村 香那		
	14	脊椎疾患患者の看護	講義		中村 香那		
	15	事例検討	講義		中村 香那		
16							

	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
に授 必業 修要 な時 間 学外	専門基礎分野の知識を基に受講する。						
使 参 考 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器 ・系統看護学講座 成人看護学〔7〕脳・神経 ・系統看護学講座 成人看護学〔10〕運動器 						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○					
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(評 欄 自 由 記 述)	<p>筆記試験</p> <p>①呼吸器系の看護：100点</p> <p>②脳神経系の看護：100点</p> <p>③筋・骨格系の看護：100点 ①②③の平均点を科目の評価点とする</p>						
成 績 基 準 評 価	<p>・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。</p>						
セ ー ジ ス の 留 意 点 そ の 他 ツ	<p>履修にあたって 老年看護学実習につながる知識と看護の学びの機会です。主体的に取り組むことを期待します。</p>						

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無			
				有	無		
専門分野Ⅱ 【老年看護学】	老年看護学方法論Ⅱ (腎・泌尿器系疾患の看護) (透析患者の看護) (感覚器系疾患の看護) (事例展開)		秋好 美希 安部 佐和美 田浦 里菜 安部 三枝子	○ ○ ○ ○	看護師としての臨 床経験を授業に活 かす		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	30	1	後期				
学習 内容	専門基礎分野の知識を基に、老年期に発症しやすい病態・疾患の看護を学び、看護師の役割を理解する。 老年期に生じやすい疾患をもつ事例を展開し、看護の実践につなげる思考ができる。						
到達 目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	腎・泌尿器系疾患の病態・症状・機能障害・治療をもとに看護を理解する。	○				
	2	感覚器系疾患の病態・症状・機能障害・治療をもとに看護を理解する。	○				
	3	事例展開をとおして老年期の看護の特徴と実践につながる思考を理解する。	○	○	○		
	4						
	5						
授 業 計 画	No.	授業内容	授業方法	備考 (講師名)			
	1	前立腺肥大症について治療・看護 前立腺がんに対する治療・看護	講義	秋好 美希			
	2	膀胱がんについて治療・看護 尿路結石について治療・看護	講義	秋好 美希			
	3	腎がんについて治療・看護 腎移植について治療・看護	講義	秋好 美希			
	4	慢性腎臓病患者の看護(保存期) 内科的疾患患者の看護	講義	安部 佐和美			
	5	透析を受ける患者の看護	講義	安部 佐和美			
	6	眼疾患患者の看護	講義	田浦 里菜			
	7	眼疾患患者の看護	講義	田浦 里菜			
	8	耳疾患患者の看護	講義	田浦 里菜			
	9	耳鼻科疾患患者の看護	講義	田浦 里菜			
	10	咽喉科疾患患者の看護	講義	田浦 里菜			
	11	老年看護 事例展開のOR アセスメント	講義・個人 ワーク	安部 三枝子			
	12	アセスメント	個人ワーク	安部 三枝子			
	13	アセスメント・全体関連図	講義・個人 ワーク	安部 三枝子			
	14	全体関連図・看護計画	講義・個人 ワーク	安部 三枝子			
	15	看護計画 まとめ	講義・個人 ワーク	安部 三枝子			
16							

	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
必要 な 学 修 外 に	<p>授業者に生じやすい疾患と看護について理解する。専門基礎分野の知識が関連するため知識の確認をして臨む。</p> <p>老年者の看護の特徴を事例展開をとおして理解する。自己学習をもとに授業で知識の確認をする。授業時間外の自己学習が必要。</p>						
使 用 参 考 教 科 書	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 ・系統看護学講座 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 ・系統看護学講座 成人看護学 [13] 眼 						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり組み状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3				○		
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由 記 述 欄)	<p>①腎・泌尿器系の看護については筆記試験の100点のうち評価を以下のとおりとする。 腎・泌尿器系の看護 60%、透析患者の看護 40%</p> <p>②感覚器系疾患の看護：100点</p> <p>③事例展開：ループリック評価を用いる。100点評価。</p> <p>※①②③の平均点を科目の評価点とする</p>						
成 績 評 価 の 基 準	<p>・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。</p>						
七 一 学 生 へ の そ の メ ッ ジ ン グ	<p>老年看護学実習につながる知識と看護の学びの機会です。主体的に取り組むことを期待します。</p>						

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【小児看護学】		小児看護学概論		野口 直子		○	
						看護師としての臨床経験を授業に活かす	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	16	1	後期				
学習内容	小児看護の概要と小児各期の特徴を理解し、成長発達に応じた援助について学び、今後の小児看護の展開の基礎とする。思春期の「性」に関しては母性看護学で学ぶ。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	小児看護学の概要と権利を持った存在で	○				
	2	小児をとりまく環境と家族・看護の役割		○			
	3						
	4						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	1. 小児看護の対象・目的 2. 小児看護の変遷と課題	講義		野口 直子		
	2	3. 子どもの権利と看護倫理 小児を取り巻く社会	講義		野口 直子		
	3	4. 小児の成長・発達（乳児期、幼児期、学童期、思春期）	講義		野口 直子		
	4	1) 小児各期の成長・発達の特徴と養護・・【グループワーク】 2) 小児各期の健康問題【グループワーク】	GW		野口 直子		
	5	1) 小児各期の成長・発達の特徴と養護・・【グループワーク】 2) 小児各期の健康問題【グループワーク】小児の栄養	GW		野口 直子		
	6	発表：小児各期の成長・発達の特徴と養護	講義		野口 直子		
	7	発表：小児各期の成長・発達の特徴と養護	講義		野口 直子		
	8	5. 小児と家族 6. 小児看護に必要な理論(子どもセルフケア理論)	講義		野口 直子		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							

に授 必業 修要時 な間 学外	GWの取り組みを行う。発表のための事前学習を行い、発表ができるように準備が必要。各グループで発表できるように図書館や図書室、PCなどを活用し事前に調べてまとめる。						
使 参用 考教 書科 書	医学書院 系統看護学講座 専門文野II 小児看護学概論 小児看護学臨床総論 適宜、授業資料は配布。各講演で講師が作成したプリントまたはパワーポイント。						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標1	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	到達目標2	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	到達目標3						
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由記述 欄)	筆記試験						
成 績 評 価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修に あたって 学生の 留意点 その他							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
専門分野Ⅱ 【小児看護学】	小児看護学方法論Ⅰ		松井 裕治 宮崎 恵子 野口 直子	○ ○ ○	医師としての臨床経験を授業に活かす 看護師としての臨床経験を授業に活かす		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	30	1	後期				
学習内容	<p>小児期に発生しやすい疾患の病気・治療・成長発達について理解する。また、先天性疾患・ハイリスク新生児の看護について理解する。基礎看護技術での学習をもとに小児特有の看護技術について学ぶ。先天性疾患やハイリスク児の基本的な看護について理解する。</p> <p>1. 疾患 2. 先天性異常と新生児の看護 3. 小児看護学総論小児看護技術</p>						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	小児期に発生しやすい疾患の病気や治療が理解できる。	○				
	2	先天性疾患・ハイリスク新生児の看護について理解する。	○				
	3	子どもの認知発達を理解し、子どもの認知に応じたプレパレーションを活用し支援ができる。			○		
	4 5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	病気・障害をもつ小児と家族の看護	講義		松井 裕治		
	2	第5章～6章 免疫・感染症	講義		松井 裕治		
	3	第7・8章呼吸器・循環器	講義		松井 裕治		
	4	第9～11章消化器 血液 悪性新生物	講義		松井 裕治		
	5	第12・14章～19章	講義		松井 裕治		
	6	ハイリスク新生児の看護について	講義		宮崎 恵子		
	7	先天性疾患の看護について	講義		宮崎 恵子		
	8	病気・障害をもつ小児と家族の看護1) 重症化しやすい疾患と病態生理と治療・検査を理解する。	講義		宮崎 恵子		
	9	病気・障害をもつ小児と家族の看護2) 健康障害に伴う子どものストレスと援助	講義		宮崎 恵子		
	10	病気・障害をもつ小児と家族の看護3) 子どもの健康障害に伴う家族のストレス	講義		宮崎 恵子		
	11	小児看護技術1) 小児看護技術の特徴2) プレパレーションの意義と方法	講義		野口 直子		
	12	ピアジェの理論を活用した子どもの認知発達	講義		野口 直子		
	13	演習(グループワーク)	GW		野口 直子		
	14	演習(グループワーク)	GW		野口 直子		
	15	発表(ロールプレイ) 計画修正・振り返り	GW		野口 直子		
	16						
	17						
	18						
	19						
20							

	21						
	22						
	23						
に授 必業 修要時 な間 学外							
使 参用 考教 書科 書	系統看護学講座 専門文野II 小児看護学概論 小児看護学臨床総論 医学書院						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり組み状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3			○		○	
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由 評価 方法 欄)	小児の疾患:筆記試験100点 先天性異常と新生児の看護:筆記試験100点 小児看護学総論・小児看護技術:筆記試験100点 平均点を最終評価とする						
成 績 基 準 評 価	・学習の到達度に応じて、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履 修 に あ た り て 留 意 す べ き 点 を 明 記 す べ し 。							

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無			
				有	無		
専門分野Ⅱ 【小児看護学】	小児看護学方法論Ⅱ		今井一秀 長田彩加 古坂裕美 野口直子 三浦里美	○	医師としての臨床経験を授業に活かす		
				○	看護師としての臨床経験を授業に活かす		
				○			
				○			
				○			
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	30	1	後期				
学習内容	小児看護学概論・小児看護学方法論Ⅰで学習した知識をもとに、健康障害をもつ小児・家族の看護について理解する。障害を持つ小児の看護過程の展開を学習する。						
	1. 疾患をもつ小児と家族の看護 2. 小児脳神経系疾患 3. 重症心身障害児の看護 4. 小児看護過程展開						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	急性期における子どもと家族の看護がわかる。	○				
	2	健康障害をもつ子どもと家族について理解する。	○				
	3	障害を持つ子どもに看護の展開が分かる。		○			
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考 (講師名)			
	1	急性期の子どもと家族の看護、疾患をもつ小児と家族の看護	講義	長田 彩加			
	2	周手術期の子どもと家族の看護	講義	長田 彩加			
	3	症状を示す子どもの看護	講義	長田 彩加			
	4	ファロー四徴をもつ子どもの看護	講義	長田 彩加			
	5	感染症を持つ子どもの看護	講義	長田 彩加			
	6	腎・泌尿器疾患・生殖器・外性器の疾患 ネフローゼ症候群の患児の看護	講義	古坂 裕美			
	7	糸球体腎炎・尿道下裂（OP前後）の看護 1型糖尿病患児の看護（前半）	講義	古坂 裕美			
	8	肥満患児の看護 発達障害をもつ患児・家族の看護	講義	古坂 裕美			
	9	気管支喘息を持つ患児・家族の援助	講義	野口 直子			
	10	小児がん（急性白血病）を持つ患児・家族の援助	講義	野口 直子			
	11	小児看護過程展開	講義	野口 直子			
	12	小児看護過程展開	講義	野口 直子			
	13	小児看護過程展開	講義	野口 直子			
	14	小児看護過程展開	講義	野口 直子			
	15	小児看護過程展開	講義	野口 直子			
	16	小児脳神経系疾患	講義	今井 一秀			

	17	小児脳神経系疾患	講義	今井 一秀			
	18	重症心身障害児の看護	講義	三浦 里美			
	19	重症心身障害児の看護	講義	三浦 里美			
	20						
	21						
	22						
	23						
授業時間外に 必要な学修							
使用参考教科書	医学書院 系統看護学講座 専門文野II 小児看護学臨床各論						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2	○					
	到達目標 3	○				○	
	到達目標 4			○			
	到達目標 5						
(自由記述) 評価方法	急性期・周手術期・症状別看護:100点 慢性期・ネフローゼ・肥満・発達障害を持つ子どもと家族の看護:100点 平均点を最終評価とする 小児看護過程の展開:100点 太線枠の講義は特別講義(小児看護学実習施設の特性に応じて実施)						
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修に当たって 学生の留意点 その他							

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【精神看護学】		精神看護学概論		吉野千春		○	
						看護師としての臨床経験を授業に活かす	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	現代社会に生きる人々の心の健康問題について理解し、あらゆる健康レベルにある人とその家族に対する看護アプローチの基本的考えや方法を学ぶ。また、人間関係の構築のための心理的な成長を支える基本である「コミュニケーション技術」について学び、人として自己のコミュニケーションスキルを学ぶ。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	コミュニケーションの概念と方法を学ぶ。	○	○	○	○	○
	2	精神の健康と障害を知る。	○	○		○	○
	3	人間の心の動きを知る。(心のしくみ・対象関係論・愛着理論・危機介入とストレス理論)	○	○		○	○
	4	関係の中の個人(家族・集団・社会)	○	○		○	○
	5	その他の精神科看護(地域・リエゾン・感情労働)を知る。	○	○		○	○
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	コミュニケーションの概念と方法を学ぶ。	講義		吉野 千春		
	2	言語的コミュニケーション	講義・GW		吉野 千春		
	3	非言語的コミュニケーション	講義・GW		吉野 千春		
	4	プロセスレコード・傾聴	講義・GW		吉野 千春		
	5	傾聴とは	講義・DVD		吉野 千春		
	6	精神の健康と障害(精神・精神看護とはにか)	講義		吉野 千春		
	7	人間の心の動き(心のしくみと人格の発達)	講義		吉野 千春		
	8	人間の心の動き(対象関係論・愛着理論)	講義		吉野 千春		
	9	人間の心の動き(危機介入とストレス理論)	講義		吉野 千春		
	10	関係の中の個人(家族の特性とダイナミクス)	講義		吉野 千春		
	11	関係の中の個人(精神医療の変遷・精神保健福祉法)	講義		吉野 千春		
	12	社会の中の健康障害	講義		吉野 千春		
	13	精神科看護	講義		吉野 千春		
	14	地域における精神看護	講義		吉野 千春		
	15	リエゾン・感情労働	講義		吉野 千春		
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							

授 業 時 間 外 に 必 要 な 学 修							
使 用 参 考 教 科 書	新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メジカルフレンド社 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障がいを持つ人への看護 メジカルフレンド社 2020年度 版 医療福祉ガイドブック 医学書院						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レ ポート	5.授業へのと りくみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標 1	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	到達目標 2	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	到達目標 3	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	到達目標 4	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	到達目標 5	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
(自 由 評 価 方 法 欄)	筆記試験						
成 績 評 価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。						
履 修 に あ た り て 留 意 す べ き 点 は な し と す る と す る 学 生 の 留 意 す べ き 点 は な し と す る 学 生 の 留 意 す べ き 点 は な し と す る							

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無			
				有	無		
専門分野Ⅱ 【精神看護学】	精神看護学方法論Ⅰ (精神疾患)		山本 隆正	○	医師としての 臨床経験を授 業に活かす		
			岩本 祐一	○	看護師として の臨床経験を 授業に活かす		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	16	1	後期				
学習 内容	現代社会特有の社会保険上の問題の実情と社会的背景を学ぶ。その上で精神保健上の問題への対策と今後の方向性を学ぶ。また、主な精神疾患の定義・病因・症状・治療・支援等を理解する。						
到達 目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	現代社会とこころの健康を理解する。	○	○			○
	2	精神保健医療福祉の歴史と現在の姿を知る。	○	○			○
	3	精神障がいをもつ人の抱える症状と診断の為の検査。	○	○			○
	4	主な精神疾患/障害と治療法を学ぶ。	○	○			○
	5						
授 業 計 画	No.	授業内容	授業方法	備考 (講師名)			
	1	主な精神疾患(統合失調症)/病態と治療	講義	山本 隆正			
	2	主な精神疾患(感情障害)/病態と治療法・事例	講義	山本 隆正			
	3	心のしくみと働き	講義	岩本 祐一			
	4	統合失調症の治療と看護	講義	岩本 祐一			
	5	気分障害・神経症性障害の治療と看護	講義	岩本 祐一			
	6	精神科医療の歴史	講義	岩本 祐一			
	7	依存症の看護	講義	岩本 祐一			
	8	認知療法	講義	岩本 祐一			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							

必要時間外に 授業 学修							
使用 参考 教科 書	新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メジカルフレンド社 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障がいを持つ人への看護メジカルフレンド社 2020年度版 医療福祉ガイドブック 医学書院						
成績 評価 の 方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レ ポート	5.授業へのと りくみ状況	6.その他 (備考)
(自由 評価 方法 記述 欄)	筆記試験						
成績 評価 の 基準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） で評価する。						
履修 にあ たっ て 学生 の留 意 点 のメ ッ セ							

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【精神看護学】		精神看護学方法論Ⅱ (精神障害を持つ人の看護) (事例展開)		後藤 三春 吉野 千春	○ ○	看護師としての臨床経験を授業に活かす	
科目単位数	時間	対象学年		開講時期		2020年入学生	
1	30	1		後期			
学習内容	精神看護学概論・精神看護学方法論Ⅰの知識を基盤に、精神に障がいのある人々との関わり方や精神障害の予防・看護を学ぶ。紙上事例を通して看護過程の展開を行うことで、看護の視点を明らかにすることを学ぶ。また、プロセスレコードの記録方法やロールプレイングを自己の振り返り方を学ぶ。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	精神障害をもつ人と「患者－看護師」関係の構築	○				○
	2	精神障害をもつ人への看護援助の展開	○	○	○	○	○
	3	精神障害を持つ人への看護	○	○	○	○	○
	4	精神障害を持つ人の生活支援	○	○	○	○	○
	5	精神障害を持つ人の看護展開ができる	○	○	○	○	○
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	精神障害を持つ人と「患者－看護師」関係 DVD視聴	講義		後藤 三春		
	2	コミュニケーション 回復力を高めるコミュニケーションDVD	講義		後藤 三春		
	3	看護援助の基本構造 看護過程・理論 SSTの実際DVD	講義		後藤 三春		
	4	精神科病棟という治療環境と患者の生活 目で見る精神看護 DVD	講義		後藤 三春		
	5	精神疾患・障害をもつ患者の看護 目で見る精神看護	講義		後藤 三春		
	6	薬の有害作用・地域連携バス 回復力を高めるコミュニケーションDVD	講義		後藤 三春		
	7	地域における支援 回復力を高めるコミュニケーションDVD	講義		後藤 三春		
	8	統合失調症患者の事例展開 事例紹介 精神看護では何をするのか。	講義		吉野 千春		
	9	アセスメントの視点がわかる (健康知覚管理・栄養代謝・排泄)	講義 個人ワーク		吉野 千春		
	10	アセスメントの視点がわかる (活動運動・睡眠休息・認知知覚)	講義 個人ワーク		吉野 千春		
	11	アセスメントの視点がわかる (自己概念・自己知覚・～価値判断)	講義 個人ワーク		吉野 千春		
	12	関連図作成とその視点がわかる	講義 個人ワーク		吉野 千春		
13	看護問題のとらえ方がわかる	講義 個人ワーク		吉野 千春			

	14	看護計画のとらえ方がわかる	講義 個人ワーク	吉野 千春			
	15	プロセスレコードの書き方	講義 個人ワーク	吉野 千春			
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
に授 必業 修要時 な間 学外							
使 参用 考教 書科 書	新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メジカルフレンド社 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障がいを持つ人への看護メジカルフレンド社 2020年度版 医療福祉ガイドブック 医学書院						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レ ポート	5.授業へのと りくみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標 1	○				○	
	到達目標 2	○				○	
	到達目標 3	○				○	
	到達目標 4	○				○	
	到達目標 5				○	○	
(自 由 記 述 欄 評 価 方 法)	筆記試験 事例展開 (ルーブリック評価)						
成 績 基 準 評 価	・学習の到達度に応じて、優 (100~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下) で評価する。						
セ 学 生 ジ へ の メ ッ 他	履修にあたっての留意点						

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無			
				有	無		
専門分野Ⅱ 【母性看護学】	母性看護学概論		井上典枝	○			
				助産師としての臨床経験を授業に活かす			
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	16	1	後期				
学習内容	母性看護の基盤となる概念や母性看護を必要とする対象の特徴、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、さらに各種統計資料を考察する事によって母性看護の課題や役割を考える。また女性のライフステージ各期における看護やプロダクティブヘルスケアについての学習を深める。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	母性看護の基盤となる概念、対象の特徴、社会の現状と課題および各ライフステージに特徴的な看護を理解できる。	○				
	2						
	3						
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	母性看護とは	講義		井上 典枝		
	2	母性看護に役立つ概念と理論 セクシュアリティ	講義		井上 典枝		
	3	母性看護の歩み 母性の健康と社会	講義		井上 典枝		
	4	女性の身体的変化	講義		井上 典枝		
	5	女性とヘルスプロモーション ライフサイクルにおける女性の健康と看護	講義		井上 典枝		
	6	途上国・新興国・先進国における女性の健康 女性の自立支援	講義		井上 典枝		
	7	現代社会における母性保健をめぐる課題	GW		井上 典枝		
	8	現代社会における母性保健をめぐる課題	発表		井上 典枝		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							

必要 時間 外に 学修	GW課題が授業時間内に終了しなければ、課外の時間を使い、学修を行う。						
使用 参考 教科 書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論 ウィメンズヘルスと看護 メヂカルフレンド社 2. 厚生指標 増刊 国民衛生の動向 厚生労働統計協会						
成績 評価 の 方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポ	5.授業への りくみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2						
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由 評価 方法 記述 欄)	筆記試験						
成績 評価 の 基準	・学習の到達度に応じて、優 (100~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下) で評価する。						
履修 にあ た る 留 意 点 の 他 の メ ッ ジ ン グ の 他							

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【母性看護学】		母性看護学方法論Ⅰ		井上典枝		○	
						助産師としての臨床経験を授業に活かす	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2020年入学生		
1	30	1	後期				
学習内容	<p>正常に経過する妊娠・分娩・産褥期の身体的、心理・社会的特性について理解する。各期のアセスメント、保健指導、家族を含めた看護を学び、健康をめざした援助方法を学ぶ。</p> <p>新生児の看護では、子宮外適応現象と生理的变化を理解し、児の健康な発達を促進する援助方法を学ぶ。</p>						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	周産期、新生児期にある対象や家族の正常な経過や必要な看護を理解できる。	○	○		○	
	2						
	3						
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	マタニティサイクルにおける母子の健康	講義		井上 典枝		
	2	妊娠期の身体のしくみ	講義		井上 典枝		
	3	妊婦と胎児のアセスメント	講義		井上 典枝		
	4	妊娠期における母子の看護	講義		井上 典枝		
	5	分娩の生理	講義		井上 典枝		
	6	分娩期における母子のアセスメント	講義		井上 典枝		
	7	母子の健康を保つための看護	講義		井上 典枝		
	8	産褥の経過	講義		井上 典枝		
	9	産褥期・育児期におけるアセスメント	講義		井上 典枝		
	10	母子の健康を促す看護	講義		井上 典枝		
	11	新生児の特徴、子宮外環境への適応	講義		井上 典枝		
	12	新生児の看護ケア	講義		井上 典枝		
	13	心理社会的な変化	講義		井上 典枝		
	14	家族の変化	講義		井上 典枝		
	15	まとめ	講義		井上 典枝		
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							

授業時間外に 必要な学修							
使用参考教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポ	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2						
	到達目標 3						
	到達目標 4						
	到達目標 5						
(自由記述欄)	筆記試験						
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）で評価する。						
履修に当たって 学生の留意点 その他							

分野	科目名	担当教員	実務経験の有無				
			有	無			
専門分野Ⅱ 【母性看護学】	母性看護学方法論Ⅱ (妊娠・分娩・新生児・褥婦の異常) (母性看護技術・母性看護過程の展開)	宮野 康子 井上 典枝	○ ○				
				助産師としての臨床経験を授業に活かす			
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
1	30	1	後期				
学習内容	周産期および新生児期の異常について理解し、健康状態のアセスメントと看護について学習する。また、母性看護に必要な技術・保健指導技術をグループで学び、技術の実際について学習する。事例を用いた看護過程の展開を行い、健康レベルが高い母性看護の対象を理解し、看護の方法を学ぶ。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	妊娠・分娩・産褥および新生児の異常と看護が理解できる。	○				
	2	事例にそって産褥・新生児の看護過程の展開ができる。	○	○			
	3	母性各期における集団指導の実際を理解できる。	○		○		
	4	母性看護に必要な看護技術を習得できる。	○		○		
	5						
授業計画	No.	授業内容			授業方法	備考 (講師名)	
	1	妊娠の異常と看護			講義	宮野 康子	
	2	妊娠の異常と看護			講義	宮野 康子	
	3	分娩の異常と看護			講義	宮野 康子	
	4	産褥の異常と看護			講義	宮野 康子	
	5	新生児の異常と看護			講義	宮野 康子	
	6	事例説明 ウエルネス型看護診断 アセスメント			講義 ワーク	井上 典枝	
	7	アセスメント			講義 ワーク	井上 典枝	
	8	関連図			講義 ワーク	井上 典枝	
	9	看護計画			講義 ワーク	井上 典枝	
	10	まとめ			講義 ワーク	井上 典枝	
	11	集団指導指導案作成			講義 GW	井上 典枝	
	12	集団指導発表			GW	井上 典枝	
	13	集団指導発表			GW	井上 典枝	
	14	新生児の看護に必要な技術 (計測、バイタルサイン測定、沐浴)			演習	井上 典枝	
15	新生児の看護に必要な技術 (計測、バイタルサイン測定、沐浴)			演習	井上 典枝		
16							
17							
18							
19							
20							
21							

	22						
	23						
必要時間外に	授業時間外に 看護過程展開や集団指導案作成、技術事前学習等授業時間内で完成できなければ、課外の時間を使い学修を行う。						
使用参考教科書	1. 新体系 看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 2. 看護診断ハンドブック 医学書院						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり組み状況	6.その他(備考)
	到達目標 1	○					
	到達目標 2				○		
	到達目標 3			○	○		
	到達目標 4				○		
	到達目標 5						
評価方法 (自由記述欄)	筆記試験 紙上事例展開はルーブリック評価						
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修に当たって 学生の留意点 その他							

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無	
				有	無
専門分野Ⅱ 【臨地実習】	成人看護学実習		中本 智恵子	○	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生	
2	90	2	前期		
学習内容	周手術期実習を通して手術・麻酔侵襲による生命活動・恒常性への影響をもとによSくされるリスクを回避・予防し、甲斐Hく状態に応じた日常生活支援について学び、急性期の健康レベルにある人の看護を意味づけ、看護の役割・使命を理解する。				
到達目標	No.	到達目標			
	1	急性期の対象者の術後の状態・リスクを理解し、術後の観察とその結果から身体内部で起こっている変化を判断する。			
	2	対象者の術後の回復状態に応じてリスク予防とリスクに対応した看護援助を実践する。			
	3	機能の変化に応じた健康支援を実践する			
	4	急性期看護の役割を理解できるように主体的に行動する。			
授業計画	講義内容・授業計画（配当時間を含む）				
	【実習施設】				
	国立病院機構 大分医療センター				
	社会法人恵愛会 大分中村病院				
	大分県厚生連鶴見病院				
	九州大学病院別府病院				
	【実習期間・実習時間】				
	2019年5月27日～10月30日				
	* 病院実習 8:30～16:30 7時間×13日間				
	* 学内実習 8:30～16:30 7時間×2日間 計 105時間				
【実習方法】	周手術期の患者を受持ち、周手術期の看護を実践し、リフレクションする。				
方 評 法 価 価	<ul style="list-style-type: none"> ・「成人看護学実習ルーブリック評価表」を用いて評価する ・評価者（実習指導者,教員） 				
使 参 考 教 書 科 書	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 医学書院 よくわかる周手術期看護 学研				

学生への
その他の
メッセージ

履修にあたっての留意点

成人期の対象に出会う機会は少ないが、成人期にある人は社会生活の中で多様な役割がある。役割を果たすことを周囲から期待されており、成果を生むことは自己実現につながる。そのため健康の変調は身体面の変化のみならず、社会面さらには精神面に影響していく。治療・療養を選択するにあたり成人は役割や価値観に基づき自己決定し、その後のできごとに責任を持ち自立しようとする。成人の特徴をふまえて身体・精神・社会面の変化と反応、生活など個別性を理解し対象に適した看護について思考し実践して欲しい。

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【臨地実習】		老年看護学実習		安部 三枝子		○	
科目単位数	時間	対象学年		開講時期		2020入学生	
2	90	2		前期			
学習内容	老年看護学概論、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱで学んだ、高齢者の特徴、および他科目で学んだ知識を基盤に、高齢者の健康問題をとらえ看護の展開を行なう。その人にとっての健康の維持・回復の過程を知り、個々によってその過程は違い、多様であることを理解し、高齢者とその家族がより良い生活を送るための援助ができる能力を養う機会とする。健康レベルは慢性期・回復期・終末期・神経筋疾患がある人を対象とする。						
到達目標	No.	到達目標					
	1	受け持ち患者の健康障害と生活行動や身体・心理・社会面に及ぼす影響を理解し全体像をとらえることができる。					
	2	生命力の消耗を最小限にし、健康を増進するための看護について恒常性・生活行動・健康管理・環境の視点から必要な看護を明らかにし実践できる。					
	3	対象者の意向をふまえより健康でその人らしい生活を送れるよう支援する看護師と多職種の役割・制度・チーム連携・継続看護について理解できる。					
	4	病棟で行われる治療・検査・処置・看護援助を経験し安全・安楽に配慮した看護の役割を理解できる。					
	5	「看護者の倫理綱領」と実習目標・評価規準を認識し対象者を尊重し主体的に学ぶことができる。					
実習計画	講義内容・授業計画（配当時間を含む）						
	【実習施設】						
	国立病院機構 大分医療センター						
	社会法人恵愛会 大分中村病院						
	大分県厚生連鶴見病院						
	国立病院機構 西別府病院						
	【実習期間・実習時間】						
	2020年5月25日～10月6日						
	* 病院実習 8：30～16：30 7時間×13日間						
	* 学内実習 8：30～16：30 7時間×2日間 計 105時間						
	【実習方法】						
患者を受け持ち看護過程の展開を行う							

<p>評価方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護学実習ルーブリック評価表」を用いて評価する ・評価者（実習指導者,教員）
<p>使用参考教科書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老年看護学概論 南江堂 ・老年看護学技術 南江堂 ・看護形態機能学 日本看護協会出版会 ・ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社 ・看護診断ハンドブック 第11版 医学書院
<p>ゼミ生へのメッセージ</p>	<p>健康障害のある対象者の全体像の理解をもとに行った看護を振り返り、より健康でその人らしく生活できるよう支援する看護について考え、看護とは何かを深めて行ける実習になることを期待しています。</p>

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
専門分野Ⅱ 【臨地実習】		小児看護学実習		野口 直子		○	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生			
2	97	2	前期				
学習内容	<p>小児看護の対象は、成長・発達し日々変化している存在であり、人間としての権利をもつ存在である。小児の成長・発達を理解し、健康障害が小児・家族に及ぼす影響を最小にし、内在している小児の権利の尊重する姿勢をもち、小児をとりまく社会の中で専門職業人としての看護師の役割を考える機会とする。</p> <p>【実習目的】 小児期にある対象とその家族を健康障害と発達の側面からとらえ、一人の人間として尊重しながら、保健・医療・福祉チームとして多職種と連携し、成長発達を支える看護を実践できる基礎的な能力を身につける。</p>						
到達目標	No.	到達目標					
	1	<p>【幼稚園・保育園実習目標】</p> <p>1) 健康な子どもの成長・発達を理解し、成長段階をふまえて安全に日常生活の支援ができる。</p> <p>2) 看護の専門職として子どもを尊重した関わりができる。</p>					
	2	<p>【外来実習目標】</p> <p>1) 対象に関心を寄せ、小児外来の環境や外来受診をする子どもと家族の特徴を理解し、発達段階・健康状態に応じた看護実践の見学および実施を指導者とともに進めることができる。</p> <p>2) 子どもと家族に短時間の関わりで信頼関係を築き、安心・安楽を感じて医療が受けられるように指導者とともに援助を実施する。</p> <p>3) 看護の専門職として子どもを尊重した関わりができる。</p>					
	3	<p>【病棟実習目標】</p> <p>1) 健康障害をもつ子どもに関心を寄せ、疾患や障害の程度を理解した上で、発達段階・健康状態に応じた援助を指導者とともに実施する。</p> <p>2) 健康障害をもつ子どもを取り巻く保健・医療・福祉のチームアプローチと看護師の役割について理解する。</p>					
実習計画	講義内容・授業計画（配当時間を含む）						
	【実習施設】						
	幼稚園・保育園						
	別府大学附属幼稚園		明星幼稚園				
	境川保育園		春木保育園				
	社会福祉法人 別府発達医療センター						
	大分県医療生活協同組合 大分健生病院						
	【実習期間・実習時間】						
	2019年5月27日～10月28日						
	* 幼稚園・保育園実習（8:00～16:00）（7時間×4日間）⇒健康な小児の理解						
* 障害児施設（8:00～16:00）、小児科外来実習（8:30～16:30） （7時間×9日間）⇒健康な小児の看護、障害児の看護							
* 学内実習							

	<p>【実習方法】</p> <p>幼稚園・保育園：発達段階別のクラスに入り、日課に沿って指導者と行動を共にし観察して学ぶ</p> <p>障害児施設：受け持ち患者を持ち看護過程の展開を行う</p> <p>小児外来：外来看護師の行う予診の見学や実際に予診を実施、診察・処置時の看護場面の見学など</p> <p>学内実習：各実習施設における学びの共有・・・『テーマ』に沿ってまとめ、発表する</p>
<p>評価方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小児看護学実習ルーブリック評価表」を用いて評価する ・評価者（実習指導者,教員） ・幼稚園・保育園20% 障害児施設、小児科外来・病棟80%を足して100%とする。
<p>書 使 参 用 考 教 書 科</p>	<p>「小児の摂食機能療法1・2」「重症心身障害児（者）ケアアドバンス」の書籍およびDVD医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門文野Ⅱ 小児看護学概論 小児看護学臨床総論 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門文野Ⅱ 小児看護学臨床各論</p>
<p>セ イ ジ そ の メ ッ 他</p> <p>学 生 へ の 留 意 点 あ た っ て</p>	<p>講義の中で学習した資料や事前学習を活用することで臨地での学習が進むと考えます。臨地実習では、実習指導者からの指導が主体ですが、教員も臨地実習でも指導を行います。実習施設などに関してしっかり学んでもらいたい。</p>

分野		科目名		担当教員	実務経験の有無	
					有	無
専門分野Ⅱ 【臨地実習】		母性看護学実習		井上典枝	○	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生		
2	90	2	前期			
学習内容	<p>周産期にある対象（主に褥婦とその新生児）を受け持ち、指導者とともに必要な看護を実施する。分娩期の看護については許可が得られれば指導を受けながら学ぶ。</p> <p>産科外来において、妊婦健診・保健指導の見学・援助をとおして妊娠による生理的な変化や必要な援助について学ぶ。</p> <p>受け持ち対象は健康レベルが高い成人期の女性であり、現在の健康レベルを維持向上できるようなウェルネスな視点を持った援助について学ぶ。また、褥婦と新生児（胎児）を切り離して考えるのではなく、母子一体としてとらえ互いに影響しあっていることを理解する。さらに分娩施設を退院したのち、地域で子育てをし生活していくことができるような援助についても学ぶ。</p> <p>【実習目的】</p> <p>妊産褥婦および新生児の特徴を理解し、対象をより健康に導くための看護ができる基礎的能力を養う。</p>					
到達目標	No.	到達目標				
	1	妊娠・分娩・産褥期および新生児期にある者と家族の正常な経過を理解し、対象の状況・課題を把握し、対象の異常の予防、回復の促進に向けた援助や新しい役割を獲得するための看護が理解できる。				
	2	母性看護学実習をとおして親性（母性・父性）や生命の尊さについての考えを深めることができる。				
授業計画	講義内容・授業計画（配当時間を含む）					
	【実習施設】					
	中津市立中津市民病院					
	独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター					
	医療法人啓生会アンジェリッククリニック浦田					
	【実習期間・実習時間】					
	2019年5月27日～10月28日					
	学内実習①（7.5時間 1.5時間×5回：実習オリエンテーション）					
	臨地実習（産婦人科病棟、外来、新生児室）（75時間 7.5時間×10日間）（8:30～17:00）					
	学内実習②（7.5時間 1日間：知の成果物・成長報告）（8:30～17:00）					
	学内実習③（6.0時間 1日間：領域実習終了後まとめグループワーク）（9:00～16:00）					
	【実習方法】					
褥婦とその新生児を受け持ち、指導者と共に看護を実践する。看護は病棟で実施されているクリニカルパス等を参考にする。						
産科外来で1日以上実習し、妊婦健診や保健指導などで妊婦の生理、看護を学ぶ。						
新生児室やNICUにおいて新生児の生理や実施されている看護を学ぶ。						

<p>評 価 方 法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「母性看護学実習ルーブリック評価表」を用いて評価する ・評価者（実習指導者,教員）
<p>使 用 参 考 書 科 書</p>	<p>新体系 看護学全書 母性看護学 母性看護学概論 ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社) 新体系 看護学全書 母性看護学 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護(メヂカルフレンド社)</p>
<p>セ イ ジ ソ ノ メ ッ 他</p> <p>学 生 へ の 留 意 点 つ て</p>	<p>講義で学習したことを、実践できることが臨地実習のすばらしさです。講義の資料、内容を事前学習でしっかりと再学習し、実習に臨むことで満足いく実習となります。</p> <p>実習施設の状況により、実習内容が多少異なりますが、実習終了後のまとめで共有していきましょう。</p>

分野		科目名		担当教員	実務経験の有無	
					有	無
専門分野Ⅱ 【臨地実習】		精神看護学実習		吉野千春	○	
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2020年入学生		
2	90	2	前期			
学習内容	<p>精神看護の対象者は、精神に障害を持つ人やその家族である。実習では対象者の「生きずらさ」を理解し、社会に参加しながらその人らしく生活する為の援助方法を学ぶ。またその「かわり」をとうして自己洞察・自己理解を深める場とし、精神障害者をめぐる社会問題や看護の課題を考える機会とする。【実習目的】</p> <p>精神看護は、人間対人間の関係性を基盤とし他の専門領域実習のベースとなる。精神に障がいを持つ人とその家族への理解を深め、精神看護に必要な知識・技術・態度を学び、個別性のある看護が実践できる基礎的な能力を身につける。</p>					
到達目標	No.	到達目標				
	1	対象者と対人関係をつくりながら、症状の改善を目指して、セルフケア能力や対人関係の維持・向上を目指した看護が実践できる。				
	2	対象者と向き合う自分を洞察し、自己理解を深め、対人関係の重要性が理解でき意図的な関わり方を実践できる。				
	3	保健医療福祉チームにおける他職種の役割や連携の重要性、チーム内における看護の役割が理解でき、対象者を取り巻く環境を考察することができる。				
	4	精神看護に特徴的な安全管理や権利擁護について考えを深めることができる。				
授業計画	講義内容・授業計画（配当時間を含む）					
	【実習施設】					
	向井病院（医療法人慈愛会）					
	衛藤病院（医療法人社団 親和会）					
	山本病院（医療法人山本記念会）					
	【実習期間・実習時間】					
	2019年5月27日～10月31日					
	8：30～16：30					
	【実習方法】					
	受持ち患者を持ち看護過程の展開を行う。					
精神通所リハビリテーション実習に参加し、日課に沿って指導者と行動を共にし学ぶ。						
カンファレンスや作業療法士・臨床心理士・精神保健福祉士の説明を受け学ぶ。						
方 評 法 価	<ul style="list-style-type: none"> ・「精神看護学実習ルーブリック評価表」を用いて評価する ・評価者（実習指導者,教員） 					
参 考 書	<p>新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メジカルフレンド社</p> <p>新体系看護学全書 精神看護学② 精神障がいを持つ人への看護 メジカルフレンド社 2019年度版</p> <p>医療福祉ガイドブック 医学書院</p>					

セ
イ
ジ
そ
の
メ
ッ
他

学
生
へ
の
留
意
点
ッ

履修にあたって
講義の中で学習した資料や事例展開や事前学習を活用して下さい。臨地実習は、実習指導者と教員が協力して指導を行います。